



10月20.21日の区民まつりにエコリーダーの会も参加

10月20日、21日新木場公園で江東区民まつりが行われエコリーダーの会も参加した。

両日共好天に恵まれ沢山の人があり賑わった。

「みどりのカーテン」はえこっくる江東でも初挑戦し成果は上々、その奮闘ぶりを展示した。

「みどりのカーテンクイズ」コーナーも設けて解答者にどんぐりの種、くるみ、ふうせんかずらの種をプレゼントした。

又、近くの大横川から水を汲んできて「水質検査」をするコーナーもつくり、科学少年、少女に人気があった。(取材 櫻八重)



編集後記

みどりのカーテンも役目を終え空いたプランターで野菜作り、万能ネギ、小かぶ、四季まきキャベツ、レッドチャイム、絹さやえんどう、京みずな、こまつな等お薦めです、チャレンジしてください。(山田)

区民まつりはいままで見る側であったが、初めて受ける側にまわり別の楽しみを味わった。エコ関係でも沢山のブースがありそれぞれ皆さん一生懸命でしかも楽しく過ごされているのが印象的でした。(櫻八重)

小名木川は、昭和45年から高ばしに移住した私には、馴染み深い川に成りました。調査に参加して公害元の工場も無くなり、今は憩いの場と転換し美しい桜並み木・黒松並み木も。(南)

KEL通信も今回で3号となり毎回書ききれないほど記事が多く、今回もアメニティマップ作成の為に写真撮影に11月23日にEポートで番所橋より出発し旧中川から北上して北十間川、横十間川、小名木川を通り番所橋にもどるツアー記事が省略する事になり残念です。(成瀬)

江東エコリーダーの会 2007年度予定表

12月	●16(日) 定例会	●忘年会
1月	●19(土) 定例会	
2月	●16(土) 定例会	
3月	●15(土) 定例会	

所在地：〒135-0052 江東区潮見1丁目29番7号
えこっくる江東内
発行・編集：江東エコリーダーの会
E-mail:info@koto.eco.to

江東エコリーダーの会 3

江東エコリーダー通信 2007年12月1日発行



えこっくる江東近辺の運河での撮影風景



事務局長の阿部さんの説明シーン



十一月十七日(土)定例会の日
NHKの取材を受ける!



えこっくる江東の室内での撮影

放映日
十一月二十九日



エコリーダーの会が参加した区民まつりの「水辺を見て学習するツアー」の展示パネルを見たNHK「こんにちはいっと6けん」の番組から取材要請があり、取材日が11月の定例会の日(17日)に決まり、えこっくる江東より依頼を受けた水辺アメニティマップ作成の為に水辺調査風景と河川ごとに撮影した写真整理作業中及び事務局長の阿部さんが活動内容を説明するという内容で取材が無事終了しました。水辺アメニティマップは12月末完成を目指しています。

小名木川クリーン作戦準備ツアー 9月15日(土)

「水彩都市・江東」を代表する小名木川は、江戸時代の始めに、徳川家康によって建設された「塩の道」で、水運の要であり、テレビや小説でも有名な運河です。

明治時代には、1日に2千隻を越す通行量とも言われ、銚子まで「通運丸」という定期船も運航され、江東区の産業発祥の工場跡地がたくさんあります。

当時は経済だけでなく、生活の中に溶け込んだ「水辺の空間」が息づいた、水辺の町でもありました。あたりまえに舟に乗り、魚をつり、涼を取り、開かれた水のまち江戸でした。水路は今も江東区には残っていますが地盤沈下による護岸工事で水辺といわれる空間は皆無に近い状況になっています。水彩都市江東というには寂しい限りと言わざるを得ません。そこで、歴史遺産・小名木川の「水辺の空間」を少しでも再生、保全したいと考えました。

「江東エコリーダーの会」の今年度活動計画は「江東区の水辺・水際空間を見て体験すること」です。

先に、「江東区の内部河川を見て、体験するツアー」で、小名木川を舟から見ましたが、今回は陸上から小名木川沿いを歩いて実際に体験するツアーです。このツアーは、小名木川を中心に、川にゴミを捨てないまちづくり、水辺空間の再生の啓蒙、普及活動の一貫として活動できたらと期待し、来年からの年中行事(仮称)『小名木川クリーン作戦』を想定しています。



小名木川の番所橋近くは素敵な親水公園化が進んでいますが、そこを過ぎると、ほとんどが昔の様に未だ川辺には入れません。でも、川岸近くは工事が進展し、堤防が低くなり、緑地が出来てきました。

小名木川駅再開発地域の建設ラッシュも川から見えるようになりました。かつては小名木川駅と小名木川を結ぶ入り江のジョイント部でした。皆で観察とメモの他に、小名木川の水質調査も行いました。



採水器で水を採り、簡易水質検査(パックテスト)を行いました。結果は、pHが7~7.5、COD, NO_2 , NO_3 等汚染指標は水質基準Cタイプの範囲内でした。かつてのような汚染の川ではなく、まあまあの水質でした。小名木川のゴミは川岸に入れるところは観察調査が出来、清掃が出来そうです。

しかし、まだかなりの範囲の親水公園化されていない所についてはとても難しいと感じました。



調査は、番所橋から始めました。川岸のテラスには時代を感じる燈籠があり、所々に梯子と浮き輪が。



小名木川北道路は狭い一方通行でした。小名木川をゆったりとリバーガイド船が航行していました。



小名木川には扇橋閘門という観光資源にもなりうる施設があります。隅田川と江東内部河川との水位差を調整する施設です。ここの管理室は隅田川や船番所付近までテレビや望遠鏡で監視しながら、船の安全走行を管理指導している、ありがたい施設です。今回の準備ツアーで小名木川がとても身近になりました。川の水は何ともこころ和みます。皆で、昔のような小名木川に帰って欲しいと希望しました。

来年実施される『小名木川クリーン作戦』が楽しみです! (文責 中瀬)